

冬季の富山県沿岸で採集されたゴンズイ *Plotosus lineatus*

稲村 修・不破光大（魚津水族館）



ゴンズイ *Plotosus lineatus* (Thunberg) はゴンズイ科ゴンズイ属に分類される海産のナマズ目魚類で、本州中部以南、朝鮮半島南部、東インド諸島、インド洋・紅海に分布し、沿岸の岩礁域に生息しており、胸鰭と第1背鰭に毒のある鋭い棘を持つことが知られている（澤田，1984）。

当館での本種の記録は、いずれも11月であったが、2009年1月に暖海性であるゴンズイの群れを確認したので報告する。冬季にゴンズイを確認したのは、当館初の記録である。過去の記録と新たに採集・確認した記録を合わせて報告する。

過去の記録（加野，1997）

- 1992年11月4日
氷見市島尾沖（定置網），1個体
（13.5 cm）
- 1992年11月11日
魚津市三ヶ沖（定置網），146個体
（122～134 mm）（稲村，1993）
- 1996年11月6日
新湊市（現射水市）富山新港内（かご），
14個体（11～15 cm）

採集・目視確認したもの

- 2007年3月18日
魚津補助港内，1個体
目視確認，（約8 cm 弱っていた）
- 2007年6月13日
魚津港内，2個体
目視確認，（約8 cm）
- 2007年8月30日
石田フィッシャリーナ，（タモ）98個体
（2 cm）
- 2008年8月12日
魚津市三ヶ沿岸調査，群れ
目視確認（潜水）（2～3 cm）
- 2008年9月11日
氷見市灘浦海岸，群れ
目視確認（潜水）（約5 cm）
- 2009年1月21日
入善町入善漁港内（タモ），64個体
（6～10 cm）
- 2009年1月28日
入善町入善漁港内，500個体以上（目視）
（タモ）172個体（平均全長8 cm、最大
15 cm）
- 2009年1月30日
朝日町宮崎漁港内，複数個体
宮崎在住，昭光丸・水島昭二氏より聞き
取り

2009年1月の入善漁港での採集状況

漁港内の水温は9℃で濁りは見られなかった。ゴンズイは漁港内の堤防の隙間に群がり（約500個体），群れから30個体ほど

のゴンズイ玉が離れては戻る行動を繰り返していた。動きはとても緩慢であった。水温低下からか、群れから外れて水面に浮遊している個体や、体表に綿カビが付着しているもの、既に死亡しているものも見られた。採集した個体は全長 8 cm 程であったが中には、全長 15 cm 程の個体も確認された。漁港内の群れの中にこのような大型の個体が 2, 3 個体見られた。水槽にて観察すると同日中に白点病の症状がみられたので投薬し治療した後展示した。

まとめ

比較的温暖な沿岸海域に生息するゴンズイは、年により富山湾でも確認されていたが、今回初めて、越冬した可能性が高いことを確認した。富山湾沿岸部、中でも湾奥部にあたる県東部の沿岸域の水温データは見当たらないが、冬～初春の水温が高くなってきていることにより、ゴンズイが越冬できるようになった可能性もあり、今後も情報収集に努めていきたい。

引用文献

- 稲村 修. 1993. 富山の沿岸で採集されたゴンズイ. 魚津水族博物館年報第 18 号. pp. 47. 編集, 魚津水族博物館.
- 加野泰男. 1997. ゴンズイ. 富山湾産希少魚類の採集記録. 富山湾産魚類リストおよび富山湾産希少淡水魚類の採集記録. pp. 25. 編集, 魚津水族館.
- 澤田幸雄. 1984. ゴンズイ. 解説. 日本産魚類大図鑑 (益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編) 東海大学出版会, 東京. 60.